

令和4年度 家畜診療業務体験研修実施要領

おいでよ、東北！！

家畜診療業務体験研修への皆さまの参加をお待ちしています。
獣医系大学に在学中の方は、〈研修施設までの交通費〉〈宿泊費〉の一部を助成します。

臨床系はもちろん、基礎系の方も、小動物志望の方も、少しでも産業動物臨床に興味のある方は大歓迎です。

この機会に、産業動物の診療や損害防止の現場を体験してみませんか。

生産の現場で農家さんや臨床獣医師と触れて、なぜ産業動物臨床に取り組んでいるのか、その醍醐味や楽しさ、苦味や苦労を感じ取って、産業動物臨床への興味を膨らませていただければ幸いです。

「おいでよ、東北！！」

宮城県農業共済組合

令和4年4月



目 次

1	令和4年度家畜診療業務体験研修実施要領（本文）	
(1)	目 的	1
(2)	趣 旨	1
(3)	家畜診療業務体験研修の内容等	1
(4)	受講手続き等	1
(5)	研修終了後の提出書類等	2
(6)	研修に要する経費の助成	2
(7)	受講者が遵守すべき事項	3
(8)	新型コロナウイルス感染症対策	4
(9)	受講者の個人情報保護	5
(10)	免責事項及び注意事項	5
2	令和4年度家畜診療業務体験研修実施要領（各種様式等）	
ア	受講申込書	6
イ	推薦書の例	7
ウ	誓約書	8
カ	研修事前アンケート	9
キ	旅行経路等報告書	10
ク	研修経費助成金振込先金融機関口座指定書	11
サ	研修日誌①（表紙）	12
	研修日誌②（本体）	13
	研修日誌③（報告書）	14
3	お問い合わせ先等	15

宮城県農業共済組合 令和4年度家畜診療業務体験研修実施要領

1 目 的

食の安全・安心に貢献する産業動物臨床獣医師の育成と、東北地区NOSA Iの家畜診療所獣医職員の安定確保のため、産業動物臨床獣医師を志す獣医学生を対象に家畜診療所業務体験研修を実施します。

2 趣 旨

NOSA I 東北家畜臨床研修センターで定めた「平成30年度東北地区NOSA I 家畜診療業務体験研修実施ガイドライン」に沿って、令和4年度の家畜診療業務体験研修を、1の目的達成のために実施します。

3 家畜診療業務体験研修の内容等

(1) 対象者

次のいずれも満たす学生とし、実習単位取得のみを目的とする場合は対象としません。

ア 獣医系大学の教育課程1～6年生及び大学院生で、主任教授等に推薦された学生

イ 東北地区のNOSA I 家畜診療所へ臨床獣医師として就職を考えている学生

(2) 当要領に基づく研修受入の時期

令和4年度（令和4年4月から令和5年3月末）

(3) 研修の期間

原則1週間を目安とし、受入れ診療所と参加希望学生との調整により決定する。

(4) 研修の内容

家畜診療所の就業体験を基本としますが、診療業務体験、産業動物の獣医学的技術習得など学生の学年や技能の習熟度によって受入家畜診療センターと受講者等（受講者及び主任（担当）教授）とで調整します。なお、受講生の希望と現地の獣医師（家畜診療センター所長等）の判断で研修の範囲を変更することがあります。

研修の範囲は次のとおりです。

ア 獣医師の臨床に随行して、診療等業務の見学を主とします。

イ アの見学を主としますが、診療等の補助（保定、採血等、採材分析などの補助）を範囲に加えます。

ウ イにエコーなどの機器操作や読影などの技術習得を加えます。

4 受講手続き等

(1) 受講申込

原則として研修開始希望日の1ヵ月前までに、必要書類を添えてNOSA I 宮城の受付窓口へ申し込んでください。なお、書類提出前に受付窓口にご連絡ください。

(問い合わせ・受付窓口)

NOSA I 宮城第二事業部家畜課 (担当 長江)
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1丁目8-10
電話：022-225-6781 (直通) /FAX：022-262-6535
e-Mail bu_katiku@nosaimiyagi.or.jp

(2) 受講申込時提出書類

ア 受講申込書	必須
イ 主任教授等による推薦書	必須
ウ 誓約書 (本人、連帯保証人 (保護者を原則とする))	必須
エ 学研災及び学研災付帯損害賠償保険もしくは同等の保険への加入が証明できる書類	必須
オ 旅行保険等への加入が証明できる書類	加入している場合
カ 研修事前アンケート	必須

※ 保険料等は受講者等がご負担ください。

5 研修終了後の提出書類等

(1) 受講生の提出書類

キ 旅行経路等報告書	必須
ク 研修経費助成金振込先金融機関口座指定書	必須
ケ 航空運賃の領収書 (原本)	※1
コ 食費を除く宿泊費の領収書 (原本)	必須
サ 研修日誌	必須 ※2

※1 ケは住所地等から研修施設までの往復経路で航空機を利用した場合に提出してください。

※2 研修終了時に、受入家畜診療センター所長 (もしくは庶務課長) に提出してください。

(2) NOSA I からの送付書類

- 1) 家畜診療センター所長が作成する「研修状況報告書」を主任 (担当) 教授等に送付します。
- 2) 1) の他、受講者が求める書類がある場合は、受入NOSA I が必要に応じて作成し、提出先に送付しますので、研修開始までにご連絡ください。

6 研修に要する経費の助成

この要領による研修の受講者に対して研修に要する経費の一部を助成します。助成金は受講者（もしくはその保護者等経費を負担する者）が指定する金融機関口座に、研修終了後に振込みます。

助成の内容は次のとおりです。

（1）交通費

1）受講生の住所地等から研修施設までの往復の交通費

NOSA I 宮城の旅費に関する基準で、大学の地区ごとに次の表の金額を上限として実費を助成します。ただし、NOSA I 東北の他県の研修と連続して受講する場合、当該他県との間の交通費に係る助成金は、当該他県と折半して助成します。

なお、航空機を利用した場合は、研修終了後速やかに、5（1）ケの領収書（原本）をNOSA I 宮城に提出した場合に限ってこれを助成します。

（移動時交通費助成金の上限）

北海道地区	5 万円
東北地区	2 万円
関東地区	3 万円
中部・近畿・中国・四国地区	5 万円
九州地区	8 万円

2）宿泊施設から研修施設までの往復の交通費

これが発生する場合、NOSA I 宮城の旅費に関する基準で助成します。

（2）宿泊費

宿泊施設を利用した場合は、1泊7,500円（税込）を上限として実費を助成します。ただし、研修終了までに領収書（写し不可）を受入NOSA Iに提出した場合に限ります。

食費は受講者負担とします。

7 受講者が遵守すべき事項

- （1）研修日前の10日間以内に、海外から入国または帰国していないこと。
- （2）研修日前の4ヵ月以内に海外で使用した器具、衣服、靴等を、参加時に持参しないでください。止むを得ず使用しなければならない場合には、事前に洗浄及び消毒その他の措置を講じてください。
- （3）国内の他の畜産関係施設等（大学含む）で使用し、家畜に直接接触する物品を持ち込む場合は、十分に洗浄及び消毒してください。
- （4）受講者は、研修先へ出発する際及び終了の際に、主任（担当）教授等に連絡し、必要な指示を仰いでください。
- （5）学研災等の保険は、大学で認めた学外実習でなければ保険の対象とならないため、必ず大学担当者に事前・事後の報告をしてください。

- (6) 受講者の都合による研修の中止または研修先及び研修期間の変更は、原則として認めません。止むを得ず中止する場合は、直ちに研修受付窓口、研修先の家畜診療所、所属大学の担当者に連絡してください。
- (7) 白衣、長靴、聴診器他実習に必要な物品、印鑑、健康保険証、その他必要な日用品等を携行してください。なお、携行品は必要最小限にしてください。
- (8) 受講者は、指導獣医師等の指示に従い規律ある行動をとります。これが守られない場合、受入家畜診療センター所長の判断で研修を中止させることがあります。
- (9) 受講者は、研修で知り得たNOSA I、家畜診療所、農家等の機密に属する事項及び個人情報について、研修期間中及び研修終了後においても一切これを漏えいしてはなりません。このような事実が発生した場合は法的な措置をとる場合があります。
- (10) 研修期間中における施設、人物、動物、機器類等の写真や動画の撮影は、家畜診療センター担当者や動物飼養者等の許可を得て行ってください。また、撮影の許可を得た写真や動画であっても、ホームページ、ブログ、SNS (Facebook、Twitter、Line 等)、共有サイト等に掲載することは、これを一切禁止します。

8 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、下記の要件を満たす場合に研修を受入します。

(1) 研修1カ月前

接触確認アプリ「COCOA」をインストールし、新型コロナウイルス感染陽性者との接触等について証明して下さい。

(2) 研修1週間前

- 1) 研修1週間前から、感染拡大地域（緊急事態宣言発令地域）の往来を控えるようにして下さい。
- 2) 研修1週間前から体温を測定し、その記録を受入家畜診療センター所長に提出して下さい。
- 3) 抗原検査若しくはPCR検査を実施し新型コロナウイルス感染陰性であることを証明して下さい。

(3) 研修中

- 1) 宿泊は家畜診療所近隣の宿泊施設（ホテル等）を利用して下さい。
- 2) 研修以外の不要不急の外出は自粛して下さい。
- 3) 研修中は感染予防対策（手洗いの徹底、マスクの着用（できる限り不織布マスクとする）、毎朝の体温測定）を実施して下さい。
- 4) 研修中に異常が認められた場合は、速やかに受入家畜診療センター所長に報告し、研修は中止して下さい。

(4) その他

- 1) 新型コロナウイルスワクチンの接種証明書の提示をお願いします。

2) 研修終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染を疑う症状が現れた場合は、早急に研修を実施した家畜診療センターに通知してください。

9 受講者の個人情報保護

NOSA I 宮城は、参加申込書等の応募書類はすべて厳重に管理・保管し、家畜診療業務体験研修及び獣医師職員募集以外の目的では使用しません。

10 免責事項及び注意事項

研修期間中の自動車事故、その他の不慮の事故について、原則としてNOSA I 宮城及びその使用人はその責を負いません。

受講者が、故意又は重大な過失により、施設や器具類等を破損した場合及び畜主や家畜に損害を及ぼすなどして損害賠償の責が生じた場合は、受講者及びその連帯保証人が弁済の責を負うものとします。

宮 城 県 農 業 共 済 組 合 令 和 4 年 度
家 畜 診 療 業 務 体 験 研 修 受 講 申 込 書

宮城県農業共済組合長 殿

申込年月日	年 月 日
-------	-----------------

私は、「宮城県農業共済組合令和4年度家畜診療業務体験研修実施要領」を承知し、貴組合で家畜診療業務体験研修に申し込みます。

(受講希望者)

フリガナ 氏 名		㊟
現 住 所		〒
連絡先	電話	()
	携帯	()
	メール	@
所 属	大学・学部	大学 学部・研究科
	学科 (学年)	学科 (第 学年)

(研修希望内容)

研修期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日	
	泊 日 (前泊・後泊) ※1	
研修場所 ※2	第1希望	第2希望
	その他の 希望事項	

※1 研修期間のほかに、交通機関の運行時間などから研修前日からの宿泊、研修後の宿泊が必要な場合は、○をつけてください。

※2 研修を希望する研修施設を次の中から選択して第2希望まで記入してください。記載は記号でかまいません。

- 県南家畜診療センター (記号「県南セ」、所在地 白石市)
- 中央家畜診療センター (記号「中央セ」、所在地 大崎市)
- 県北家畜診療センター (記号「県北セ」、所在地 登米市)
- 家畜診療研修所 (記号「研修所」、所在地 大衡村)

(推薦書の例)

発第 号
年 月 日

宮城県農業共済組合長 殿

〇〇大学〇〇〇〇学部・研究科
〇〇〇〇学科〇〇〇〇研究室

(職 名) (氏 名) 印

連絡先電話番号

〇〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇

宮城県農業共済組合 令和4年度家畜診療業務体験研修
受講者の推薦について

このことについて、実施要領を承知して下記の学生を推薦します。

記

1 推薦する学生

氏 名		〇〇〇 〇〇〇
所 属	学部（研究科）	〇〇〇〇学部
	学科	〇〇〇〇学科
	専攻分野	〇〇〇〇
	学年	第〇学年

2 推薦する研修の範囲

研修の範囲	推薦
ア 就業体験	○
イ 診療業務体験	○
ウ 獣医学的技術習得	×

※ これは推薦書の例で、大学で所定の様式がある場合は、大学所定の様式を用いてかまいません。

※ 推薦者は、大学の慣例に沿って指導教官などの方をお願いします。なお、推薦いただいた方に研修内容を相談することがありますので、連絡先は必ず記載ください。

推薦者の印は省略してかまいません。

※ 推薦する研修内容の「推薦」欄に学生の学年や技術等習得状況から、推薦する研修の範囲を選び○を付けてください。研修の内容は次のとおりです。なお、受講生の希望と現地の獣医師（家畜診療センター所長等）の判断で研修の範囲を変更することがあります。

ア 獣医師の臨床に随行して、診療等業務の見学を主とします。

イ アの見学を主としますが、診療等の補助（保定、採血等、採材分析などの補助）を範囲に加えます。

ウ イにエコーなどの機器操作や読影などの技術習得を加えます。

別 紙

宮城県農業共済組合長 殿

誓 約 書

研修を行うに当たり、特に下記事項について保証人と連帯責任の下に誠実に研修することを誓います。

記

- 1 貴組合職員の指示に従って、規律ある行動をとります。これに違反したときは、研修を停止、または研修の取り消しをされても異議はありません。
- 2 研修期間中における事故（自動車事故）や罹患など一切の事故等に係る損害については、すべて私どもの負担とし、貴組合には一切迷惑をおかけしません。
- 3 貴組合車両、施設並びに器具等に損害を与えた場合、自ら弁済いたします。
- 4 研修中、往診先の家畜、その所有者及び飼養者に損害を与えた場合、貴組合に責任を求めず、自ら弁済いたします。
- 5 3、4の保証人が負う弁済極度額は300万円とします。
- 6 研修中に知り得た業務上の機密及び個人情報については、研修期中はもちろん、その後も第三者に故意または過失によって漏洩したり、使用したりすることとはしません。

年 月 日

研修生 (住所)
(氏名) ⑩

保証人 (住所)
(氏名) ⑩

緊急連絡先
電話 ()
氏名

令和4年度家畜診療業務体験研修事前アンケート

記入年月日	年 月 日
-------	-------

このアンケートは、研修をより充実したものにするために行いますので、差し支えない範囲でご協力ください。

フリガナ 氏 名	
-------------	--

1 あなたのことについてお答えください。

性別		年齢	満 歳	出身地 (都道府県)	
喫煙の有無		有無	その他伝える べきこと	(アレルギーの有無など)	

2 あなたの専攻（希望）分野（所属研究室等）をお答えください。

--

3 今回の研修受講の動機、目的・目標をお答えください。

(なぜ受講するのか、どんな目的で、何をどの程度までを目標として研修に臨むのか)

4 研修で習得したいことを第1希望から順に3つ以上お答えください。

例) 畜主との接し方 頸動脈からの採血 エコーによる診断など

①

②

③

5 研修中に獣医師や農家から聞きたいことがあればお答えください。

6 その他、研修内容や研修中の生活について要望があれば記載ください。

令和4年度家畜診療業務体験研修旅行経路等報告書

フリガナ 氏 名	印
現 住 所	〒

(旅行経路)

No.	出発地	到着地	旅行手段	運 賃 (急行料)
1				
2				
3				
4				
5				

(宿泊施設から研修施設までの移動経路)

No.	出発地	到着地	旅行手段	運 賃 (急行料)
1				
2				
3				
4				
5				

※ 自宅の最寄駅等から研修施設までの、経済的に合理的な片道経路を、乗換ごとに行を変えて時系列的に記載ください。

※ バス、地下鉄などを利用した場合は、同じ路線の最も安価な運賃を記載ください。

※ 鉄道を利用する場合で新幹線など急行（特急）料金の設定がある路線の場合は、指定席急行（特急）料金を2段書きの下段に（ ）書きで記載ください。

※ 航空機を利用した場合は、必ず領収書（原本）を添付してください。

※ 自家用車（自動二輪を含む）を使用した場合は、旅行手段欄に移動距離を併せて記載ください。

※ 詳しくは、研修施設の事務担当者に確認するか、本所家畜課にお問い合わせください。

家畜診療業務体験研修経費助成金
振込先金融機関口座指定書

記入年月日	年 月 日
-------	---

宮城県農業共済組合長 殿

(受講者)

フリガナ 氏 名		㊟
現 住 所		〒
連絡先	電話	()
	携帯	()
	メール	@
所 属	大学・学部	大学 学部・研究科
	学科 (学年)	学科 (第 学年)

「宮城県農業共済組合令和4年度家畜診療業務体験研修実施要領」に基づく研修経費助成金の支払いについて、下記の口座に振込みするよう申し出ます。

記

金融機関名 (金融機関コード)	フリガナ		フリガナ					
	銀行 信用金庫 農協 信用組合 労働金庫		支 店 (営業所)					
預金種類	①普通 (総合) ②当 座	口座番号						
口座名義	フリガナ							受講者印
								㊟

- ※ ゆうちょ銀行をご利用の場合、お手数ですが「ゆうちょ銀行への振込み」のルールに従って、「記号」を「支店コード」に、「番号」を「口座番号」に変換してください。
- ※ 「口座名義人印」は、受講者名義以外の生計を一つにする同居家族等名義の口座に振込む場合に受講者が押印ください。受講者名義の口座に振込む場合は不要です。
- ※ 口座番号等の数字は、右詰めでご記入ください。

(研修日誌①)

令和4年度 家畜診療業務体験研修日誌

フリガナ 氏 名			
所 属	大学・学部	大学	
	学部・学科	学部・研究科	学科
	学年・学生番号	第	学年 ・
研修施設	宮城県農業共済組合 家畜診療センター 家畜診療研修所		
研修期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日		

研修の 動機・目的	
研修目標	
習得したい 技術等	

(研修日誌②)

家畜診療業務体験研修日誌

氏 名			指 導 者			
研修月日	年	月 日				
提出月日	年	月 日	受理月日	年 月 日		
項 目	内 容 ・ 所 見					
診療等農家数						
診療等頭数						
主な業務（研修内容） ※主な疾患、損害防止など						
検査内容 処置内容 手術等の実施状況 その他						
質問・意見（感想）						
指導者の所見 (決裁)						
所長					庶務課長	指導者

(研修日誌③)

家畜診療業務体験研修日誌（報告書）

氏名	
研修期間	年 月 日～ 年 月 日

(研修の達成度等（自己評価）)

研修目的	5	4	3	2	1
	かなりできた	できた	ほぼできた	ややできなかった	できなかった
	(理由)				
研修目標	5	4	3	2	1
	かなりできた	できた	ほぼできた	ややできなかった	できなかった
	(理由)				
習得できた技術等					
満足度	5	4	3	2	1
	かなり満足	満足	普通	やや不満	不満
	(理由)				
感想					
指導者所見					
	記入者	印	所長確認	印	



- 受講の申し込み・お問合わせは、こちらまで
NOSA I 宮城第二事業部家畜課（担当 長江）
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1丁目8-10
電話：022-225-6781（直通）/FAX：022-262-6535
e-Mail bu_katiku@nosaimiyagi.or.jp
- NOSA I 宮城の家畜診療センター等の所在地等
 - ◆ 県南家畜診療センター
〒989-0731 白石市福岡深谷字桜丘前 10
Tel 0224-25-4565 / Fax 0224-25-2653
 - ◆ 中央家畜診療センター
〒989-6251 大崎市古川小野字嵐山 26-1
Tel 0229-28-2581 / Fax 0229-28-3070
 - ◆ 県北家畜診療センター
〒987-0611 登米市中田町浅水二号 416 番地
Tel 0220-35-2880 / Fax 0220-35-2791
 - ◆ 家畜診療研修所
〒981-3602 大衡村大衡字平林 39-4
Tel 022-345-2241 / Fax 022-345-0891
- NOSA I 宮城の概要はホームページをご覧ください
<https://www.nosaimiyagi.or.jp/>

